

横浜三溪園春季茶会 第十一回

主催 横浜中央茶道会

後援 横濱茶館・横濱文化教室

協力 有隣堂・戸塚カルチャーセンター

カルチャーセンター・アグリ(上大岡)

清水康益社サバスホール(港南中央)

横浜創英中学高等学校

横浜市立六ツ川中学校

横浜中央茶道会海老名支部

横浜中央茶道会沼津支部

提供 花 横山フラワーセンター

菓子 馬車道松むら

懷石料理 大蔵(ザ ニューオオクラ)

茶会記

時 平成三十一年三月十七日(日)

於 横浜三溪園 主 内宛

従 白雲邸 小応接室 寄付(総合受付)

待合室 展観席(飾付)

談話室 懷石席(茶懷石・御酒・菓子)

一・二の間 立礼席(薄茶)

春草蘆 広間 聞香席(聞香・菓子)

三畳台目 本席(濃茶)

月華殿 檜扇の間 学生席(風炉薄茶)

竹の間 中学席(風炉薄茶)

蓮華院 広間 茶籠席(茶籠・薄茶)

奉公 横浜中央茶道会

会長 乾信治(宗實・實道・實斎)

開始 受付 十時開始 聞香席 十時三十分

各席 十時三十分 濃茶席・中学席 十一時から

終了 受付 十四時三十分 全席 十五時終了

各席満席(芳名録予約含む)時、受付終了

ご案内

本日は、当会大寄せ茶会にご参集頂きまして、誠にありがとうございます。左記に当茶会のご案内を申し上げます。ご不明な点がございましたら、総合受付あるいは各席に關しましては席受付担当にてお願い致します。

特に、会長に御用があります方は、本年は白雲邸控え室にてご挨拶申し上げます。

各席、特に一般で言う席主を設けておりませんが（講師披露席除く）、進行上、最低限に必要な会話ならびに簡単な説明（席により異なる）のみ実施しております（席により、語り部・介添役・解説役により会話する場合あり）。尚、屋礼内容は、本茶會記載にてご参照をお願い申し上げます。本年は、金毛窟では実施はありません。

席予約は、各席芳名録方式を実施、芳名録に記名（姓名共）、茶券確認消込（單品券は受取）、整理券をお受け取り願います。各席ご予約は各10名様迄（春草蘆六名様迄―金毛窟主名様迄）、ご予約の方は、開始時間五分前迄にお戻り願います。

なお、定刻になりましたらキャンセル待ちの方をお並び順にて入室となり、予約は無効になりますのでご注意ください（2度の予約はできません）。なお、点前者の関係者を優先しており、開会時間前に埋めさせて頂く事ご容赦願います。

懷石席は、入室順（満席の場合はお並び順）、懷石券回収方式です。点心（弁当）では無く、茶懷石です。お持ちは帰りできません（菓子を除く）。

お酒が振舞われ、任意お代り自由です。ご飯は、お櫃を置かせて頂ており恐縮ですがセルフサービスにて複数大丈夫です。汁替無し、箸洗い（吸い物）後、最後に主菓子で締めとなります。湯が必要な方は、用意ございます、ご請求願います。品書き参照の上、食物アレルギー方は、ご注意ください。

※アルコールは、お車の方・未成年者の方には提供できません。

御菓子、本茶会主菓子を濃茶前席（閑香席）、干菓子各薄茶席にて、懷石席にて饅頭をそれぞれ、お出し致します

白雲邸は、入口にて茶券を確認いたしますのでご用意をお願いいたします。

濃茶席の入席は、（流派を問わず）茶道経験者（及びその同伴者）に限りです。

※但し、点前者（或いは半東、席主）の関係者は、是非ご参加願います（その方には半東より頂き方説明いたしますのでご安心願います）。なお、作法上の消耗いたします懷紙は用意させて頂きますが、ご自身の流派作法で頂戴頂ければ幸いです。

撮影は、点前中は点前者の関係者のみ可能。人物が映らない席室礼は任意です。

広間には、賞盆をお出しさせて頂いておりますが、全席禁煙です。なお、席内に限らず三溪園園内施設自体、禁煙です。喫煙は、園内所定の場所にてお願いいたします。荷物預り処（クローク）は、設けてございません。手荷物ならびに貴重品は、自己管理にてお願い致します。

平成31年3月18日 当日配布版

※訂正あります場合、後日にネットにて公開いたします

Copyright©2019 横浜中央茶道会 無断複製・転載を禁ずる

展観席（白雲邸）

本年は、古典遊技具の飾りです。

日本伝統古典遊技

古くは、平安時代、最初に登場するのは『打碁』「ぶりぶり（展示は『ぶりぶり香合』」、その後、源氏物語で登場する『盤双六』「囲碁（飾りは『置物での囲碁』」、次には元祖大将棋や『貝合せ』、室町時代に闘茶や小将棋（今で言う本将棋）、江戸期に入りますと、花札や歌留多の類や『絵双六』、『投扇興』、中将棋、大将棋（各種ある）などです。本日は、『』のものを飾ります。

参考に、闘茶道具は、第八回に実施いたしました。

また、今回第十一回から第十三回迄は、古典遊戯具を展示する予定です。

野点

総合受付入口には、目印の意味で野点傘を設置いたします。
（月華殿正面にも設置いたします）。

但し、雨天時（小雨中止）・強風時は、野点傘中止です。

結界 焼杉

沙江作

懷石席（白雲邸）茶懷石一汁二菜

煎茶 桜茶

飯 白御飯

汁 白味噌仕立て

蓬麩オランダ、細根大根、梅麩、水辛子

向付 鯛切り重ね

菜の花、たらの芽

山葵、梅肉醬油

煮物椀 海老葛打ち、小袖玉子、梅花芋

梅花人参、梅花椎茸、軸菜、柚子

箸洗 若竹、木の芽

奉公 大蔵（ニューオオクラ）

※湯斗あり、ご飯お代り自由、酒お代りあり

菓子 馬車道饅頭

松むら

御酒

酒 而妙斎御銘純米大吟醸「松の翠」超特選 山本本家

銚子 古銅菊水文様 他

飾り

花見弁当簞笥 漆器 蒔絵菊草花 時代

花見弁当重箱 大正

盃飾り 九谷庄三 農耕之図 時代

盃洗 時代窓抜遊興山水図蒔絵盃洗一对

同台 山水図蒔絵 時代

聞香席（春草蘆・広間）

掛物 扇子 「日佳」大徳寺黄梅之太玄筆

花入 無弔造

花 季節の花

茶入 金瓢 平安象彦作

琵琶床 香時計 松栄堂

聞香具 桑三重香合 菊文様聞香炉 桑長盆 香七つ道具

香木 伽羅 松栄堂

菰盆 菰盆 狸斎好 褶漆 沙久作

煙管 如心斎好写 壺多 近谷清雲作

火入 車軸火入 惺斎好写 松樂造

主菓子 「菊ねりまり」 松むら

干菓子 金平糖 三種 緑寿庵清水

菓子器 松風 短桜 明治

桜生花飾り

香煎茶 御香煎 祇園 原了郭

濃茶席（春草廬・小間）

本席

掛物 「九天雲靜鶴飛高」 大徳寺聚光院小野澤虎洞筆
花入 竹 稻束 宗林作
花 季節の花
香合 貝蓋大香合 栗田焼 河鍋曉斎造

釜 富士裾透木釜 佐藤淨清作
炉縁 桑

水指 古瀬戸 時代
茶入 信楽 肩付 時代
仕覆 弥三右衛門間道

茶碗 黒楽 「碧雲」 松楽造
替 楽焼 「桜尽し」 楽入造
仕舞 平茶碗 薩摩焼
出帛紗 点前好み
茶杓 慈光院古材 亭主床
建水 苔入朱 無弔作
蓋置 竹 宗篤作 前大徳寺 宝林寺福本積慶箱書

御濃茶 銘「祥雲の昔」而妙斎好 詰 柳桜園

茶籠席（蓮華院）

掛物 軸 「喫茶去」前大徳寺 宗光大雲筆

花入 萩 野坂江月堂

花 季節の花

香合 蜜甘 時代

印香 若菜下

琵琶床 越前琵琶（四本弦） 時代

振出 大 古瀬戸

釜 富士形鉄瓶 時代

風炉 丸唐銅風炉 時代

風炉先 竹林雀 時代

茶籠 御所籠 和田菁竺作

茶筌筒・巾合 溜塗

茶器 溜塗 河太郎

仕服 弥三右衛門間道

茶碗 赤染小茶碗 時代

替 織部小茶碗 時代

同 布目桜小茶碗 時代

仕舞 三島小茶碗 杉山造

数茶碗 萩焼 中村昇龍造

茶杓 象牙小茶杓 時代

仕服 弥三右衛門間道

茶筌 姫茶筌

建水 溜塗大太竹

茶巾置 志野 一耀作

洗瓶 中華風水次 小渡り

苜盆 八角桐

火付 プライヤ材ZIPPO

巻苜入 大駒

振出 溜塗 瓢箪型

干菓子 金平糖 星果庵

干菓子 三食団子

菓子器 銘々皿二種

御薄茶 銘「珠の白」而妙斎好 詰 柳桜園

立礼席（白雲邸）

掛物

浮彫「富士登頂十牛図」

岳泉造

花入

二重切り

星秀斎一作

花

季節の花

香炉

久谷

幸仙造

釜

牛童子四方釜

佐藤造

棚

扇面立礼卓而妙斎好写

河瀬一敬作

水指

白銅唐銅分円壺

悠久作

茶器

中叢「夜桜」

陽斎塗

茶碗

乾山十牛図

寺尾陶象造

替

十牛図題

奥村考造造

同

十牛図（全）

仕舞

騎牛帰来 絵唐津

数茶碗

金牛十牛図

金斗秀峰作

茶杓

黒柿

青峰重輪作

建水

曲建水

蓋置

流れ桜

喜多庄兵衛作

水次

唐銅薬缶 芋型

時代

銘々皿

十牛図絵替 板目

時代

干菓子

和三盆 干支戌

三寸丸

御薄茶

銘「琵琶の白」

詰 上林

学生席（月華殿） 風炉点前

横浜創英中学高等学校 茶道部学生運営席
※諸道具は、学校備品です

掛物 軸 「清流無間断」 前大徳玄機和尚筆
花入 手付置籠花入
花 季節の花
香合 稚黒香合
飾袱紗 桜

風炉 朝鮮風炉
風炉釜 真形風炉釜
棚 二重棚
水指 緑磁 面禾指
茶器 中臬 津輕塗
茶碗 風志堅 扇男造
替 筒勢斗策 寿楽造
同 林箬声
数茶碗 萩ほか
仕舞 平茶碗
茶杓 節有り 時代
建水 エフコ 唐銅
蓋置 山水染付
水次 腰黒薬缶
風炉先屏風 網目
結界 木目 三角

干菓子 花がすみ
雪溪
御薄茶 銘「小櫻」 詰 柳校園

中学席（月華殿） 風炉点前

横浜市立六ッ川中学校 茶道部学生運営席
※諸道具は、学校備品です

干菓子 梅しずく
雪りんご
御薄茶 銘「小松の白」 詰 上林